

[View this email in your browser](#)



昨年開館したKeMCoは、4月19日で1周年になろうとしています。そして「KeMCoのいまの『声』を届けよう」と始まった、このニュースメール「KeMCo Voice」も3年目を迎えました。引き続きKeMCoのリアルタイムな活動や声をお届けしてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

KeMCoの近況

【4/18～】 センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫 書を極める：鑑定文化と古筆家の人々



「古筆秘冊帖文昇鳳」(部分)、鎌倉時代～江戸前期(13～17世紀)、三田メディアセンター(慶應義塾図書館)

4/18(月)から開催される「書を極める：鑑定文化と古筆家(こひつけ)の人々」展では、欠けた書物を分割した書の美術品「古筆切」や古筆本家に関する資料が展示されます。筆跡鑑定を職業とする家として、江戸初期に誕生した古筆家。約300年にわたるその活動を通じて集積した膨大な資料や記録を初公開します。本展は5/14(土)、6/18(土)に特別開館もございます。ぜひお越しください。

書を極める：鑑定文化と古筆家の人々

会期 | 2022年4月18日(月)～6月24日(金) 11:00—18:00

*土日祝休館

*5月14日(土)、6月18日(土)は特別開館

*5月16日(月)、6月13日(月)は臨時休館

会場 | 慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室(三田キャンパス東別館)

対象 | どなたでもご覧いただけます

費用 | 無料[事前予約制]

[書を極める展](#) [ご予約はこちら](#)

KeMCo Studio特別開室



artwork: © Enrico Isamu Oyama photo: © Katsura Muramatsu(Calo works)

「書を極める：鑑定文化と古筆家の人々」展にあわせて、KeMCo Studio/Oが特別開室されます。KeMCo Studio/Oでは、KeMCo Studio/Oの設備や活動の紹介のほか、大山エンリコイサム《FFIGURATI #314》をご覧いただけます。

開室日時 |

2022年4月18日(月)、5月6日(金)、5月14日(土)、5月25日(水)、5月31日(火)、6月6日(月)、6月18日(土)、6月24日(金)

※「センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫 書を極める：鑑定文化と古筆家の人々」展のご予約が必要です。

※開室日時・時間は変更になる可能性がありますのでご注意ください。

展示室より、推しモノ #09



古筆了信讃・安田靱彦画「古筆了佐像」大正13年(1924)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)

書の鑑定を担った古筆家の活動を紹介する「書を極める」展、展示中の作品からここで紹介したいのは古筆了信讃・安田靱彦画《古筆了佐像》です。歴史人物を多く描いた日本画家として有名な安田靱彦ですが、実はその描かれた人物の中には慶應義塾創立者の福澤諭吉も含まれています。義塾所蔵なので気になった方はKeio Object Hubで見てください。

さて展示中の本作、靱彦の署名横には「模古筆家伝来木像」とあることから、この了佐像は、当院所蔵の木像をもとに描かれたことがわかります。その契機となったのは関東大震災での了佐像の損失です。了信の横からも伺えるように、震災による文化財の喪失は、当時の人々に強く回顧的な風潮もたらしました。そうした時代、了信や靱彦にとって古筆家の初代、了佐とはいかなる存在としてうつったのでしょうか。

古筆家の歴史をたどる今回の展示で、了佐の活躍その一端も紹介しています。ご来館をお待ちしております！

宮崎 黎 (KeMiCo)

[古筆了佐像の詳細はこちら](#)

空き地

KeMCoのオフィスは東別館4Fにあり、学芸スタッフのほかに事務スタッフも数名在席しています。私も(ほんの少し)KeMCoの運営のお手伝いをしています。仕事をしていると、学芸スタッフや関係者の方からさまざまなお話を伺うことがあります。出品作品の好きなどころ、いまととても興味を持っている研究対象、これまで携わったさまざまな展覧会やプロジェクトなど、……。どの方も楽しそうに生き生きとお話しされるので、聞いている私もいつも嬉しくなっています。

実は私は、皆様がいまご覧になっている「KeMCo Voice」第1号から編集を担当しています。展覧会の推し作品を紹介するコーナー「展示室より、推しモノ」は特に、紹介者の出品作品への「愛」が感じられるコーナーなのではないでしょうか。

「書を極める」展の「推しモノ」は6月号まで引き続きご紹介予定です。ぜひ、次号以降も楽しみにお待ちいただければ幸いです！(そしてご感想などもお待ちしております！)

久保山 (KeMCo事務員)

お知らせ

三田でご覧いただける展示

Artist Voice II: 有元利夫 うたのうまれるところ 2月14日(月)・4月22日(金)
慶應義塾大学アート・センター

「今宵逢ふ文(ふみ)みなうつくしき慶應義塾図書館新収資料展2022-1」

【前期/洋書展示】3月28日(月)・4月30日(土)

【後期/和漢書展示】5月9日(月)・6月11日(土)

慶應義塾図書館 1階展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。すでにいただきましたご意見を匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

[> ご意見・ご感想はこちら](#)

次回のKeMCo Voiceは2022年5月に配信予定です。
[過去のニュースメールはこちら](#)



Copyright © 2019-2022 慶應義塾ミュージアム・コモンズ Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

Tel: 03-5427-2021 Fax: 03-5427-2022

[お問い合わせ](#)

[KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら](#)

